

JST復興促進 産学マッチングイベント in 仙台

～実用化・事業化を一緒に目指す企業を探しています～

JST復興促進センターが支援する研究課題の成果について、課題ごとにポスター展示とショートプレゼンを行います。被災地企業で役立つ研究の成果を紹介しますので、是非御社での事業化・製品開発へ向けた共同研究など、産と学との連携をご検討ください。なお、当日ブースには各研究担当者がいますので、随時ご質問・ご相談を受け付けいたします。

日時：平成26年1月28日(火) 10:30～17:00
(ショートプレゼン 10:30～12:00 ポスター展示 10:30～17:00)

会場：仙台国際センター 2F「桜」
(宮城県仙台市青葉区青葉山)
「産学官連携フェア2014-winterみやぎ」内にて開催

参加無料
申し込み不要

研究成果発表課題のご紹介

(※順不同)

<テーマ>ビアリール化合物の環境低負荷型合成

<説明者>名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻 助教 ウヤヌク ムハメット

<研究概要>

抗がん剤や液晶など幅広い分野の材料として使用されるビアリール化合物。本研究では、金属を用いずに、安全・安価な酸化剤存在下で、日本に豊富なヨウ素を触媒的に用いるフェノール類の酸化的カップリング反応によるビアリール化合物の製造プロセスを確立しました。

<想定される用途>

- ・医薬中間体の合成
- ・農薬中間体の合成
- ・電子材料等機能性材料の製造

<活用できる業種>
医薬品、農薬、化学

<テーマ>エアジェットを用いた柔軟物の健全性診断技術と試験機の開発

<説明者>日本大学工学部機械工学科 教授 横田 理

<研究概要>

本研究では、空気噴流による柔軟物のくぼみ深さの測定法を検討し、その試験機を作製して柔軟物の粘弾性特性を調べました。瞬時の負荷・除荷、瞬時の変形を簡単に計測でき、さらに柔軟物による瞬間変形、遅延変形、粘性流動特性を確認できる装置を開発しました。

<想定される用途>

- ・柔軟物の評価として、柔らかさの測定、静的試験、繰り返し試験が可能
- ・ソフトマターや食品への計測と評価ができる
- ・生体の腫瘍や血管への計測法の確立も探れる

<活用できる業種>
食料品、ゴム製品
医療機器

<テーマ>環境対応型接着技術の開発

<説明者>岩手大学工学研究科フロンティア材料機能工学専攻 准教授 平原 英俊

<研究概要>

分子接着剤を架橋エラストマー表面に結合させるために、架橋エラストマーの一次加工時において、架橋エラストマー表面に分子接着剤と反応する官能基を導入する技術を検討し、有害物質フリーの環境対応型接着技術を確立しました。

<想定される用途>

- ・ダイヤフラム
- ・シーリング材
- ・ゴム引布
- ・積層ゴム

<活用できる業種>
ゴム業界、自動車部品、
電子材料部品